

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 289

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. 共用ボリュームの移行について..... 1
2. フォームオーバーレイ機能の利用について..... 2
3. 結晶構造データベースシステムXDTのデータの追加について..... 6
4. プログラム相談員の募集について..... 6
5. マスストレージの年度更新手続きについて..... 6

1. 共用ボリュームの移行について

3月末から4月中旬にかけて、共用ボリュームを従来のディスク（F496：317メガバイト／ボリューム）から新しいディスク（F6425：630メガバイト／ボリューム）に移行します。従来のディスクと新しいディスクとの差異は表1のとおりです。

表1. 新旧共用ボリュームの比較

項目	区別	従来のディスク	新しいディスク
機 種 名		F496	F6425
記 憶 容 量		317.5 メガバイト／ボリューム	630.2 メガバイト／ボリューム
デ ー タ 転 送 速 度		1,198 キロバイト／秒	3,000 キロバイト／秒
シ リ ン ダ 数		555 シリンダ／ボリューム	885 シリンダ／ボリューム
シリンダ当りのトラック数		30 トラック／シリンダ	15 トラック／シリンダ
ト ラ ッ ク 容 量		19,069 バイト／トラック	47,476 バイト／トラック
ブ ロ ッ ク の 長 さ	キーなしブロック	185+データ長	$480 + \left[\frac{\text{データ長} + 12}{32} \right]^{*1} \times 32$
	キーを持つブロック	198+キー長+データ長	$480 + \left[\frac{\text{キー長} + 12}{32} \right]^{*1} \times 32 + \left[\frac{\text{データ長} + 12}{32} \right]^{*1} \times 32$
トラック当りのブロック数 (固定長ブロックの場合)		$\left[\frac{19254}{\text{ブロックの長さ}} \right]^{*2}$	$\left[\frac{47968}{\text{ブロックの長さ}} \right]^{*2}$

*1：小数点以下は切上げ

*2：小数点以下は切捨て

共用ボリュームの新ディスクへの移行はセンター側で行います。ただし、表1からわかるように、1トラック（または1シリンダ）の容量が異なり、1トラック当りのブロック数（TTRなどのブロックアドレス）を意識しているようなデータセット（特に直接編成のデータセットに多いと思われます。）については、センター側で移行すると不都合を生じる場合があります。そこで、このような直接編成データセットについては、4月3日から4月13日までの間に利用者自身によって移行してください。なお、4月3日より新しく生成する保存データセットはすべて「F6425」上に作成されます。

以下に、SASデータセットの移行の例を示します。SASデータセットはセンターで機械的に移行すると後で利用できなくなるデータセットの1例です。

(例) READY

```
ALLOCATE F(INDD) DA(SASOLD. DATA) SHR
ALLOCATE F(OUTDD) DA(SASNEW. DATA) NEW CATALOG UNIT(PUB)-
SPACE(10 10) TRACK
SAS
1? PROC COPY IN=INDD OUT=OUTDD ;
2? RUN;
   :
3? /*
READY
```

(業務掛 電(内)2517)

2. フォームオーバーレイ機能の利用について

日本語ラインプリンタ装置（以下NLPと略す）は電子的な書式オーバーレイ機能を持っています [1]。この機能により、印刷用紙1ページ分の書式データ（表の枠や見出しなどの固定部分）をNLP内の書式オーバーレイメモリ（FOM）に格納しておき、利用者プログラムで出力した可変データと重ね合わせて印刷することにより、希望する帳票や図形が得られます。

同様の機能を持つものにKING（帳票出力）/JEF [2]があり、これは複数ページにまたがる帳票作成や固定部分を動的に変更できる等の利点を持っていますが、書式データの単位は9，12ポイント文字のみ、と制約があります。

これに対し、フォームオーバーレイでは書式データの大きさを文字単位（4，5，7，9，12，18，36ポイント文字）とドット単位（240ドット/1インチ）で指定でき、また、図形用パターンや網掛け、複数のオーバーレイパターンと可変データを組み合わせた複写出力など、機能も豊富できめ細かな帳票設計が可能です。

1. 処理概要

オーバーレイパターンはADJUSTのフォームオーバーレイパターン作成ユーティリティを使用して作成し（詳細は[3]参照）、カタログドプロシジャADJUSTで利用者データセットにロード

モジュール形式で登録します。このデータセットを私用イメージライブラリと称し、オーバーレイパターン名(4文字以内の英数字)がメンバ名となります。

可変データとの合成印刷を行うには、出力DD文のFLASHパラメータでオーバーレイパターン名を指定します。

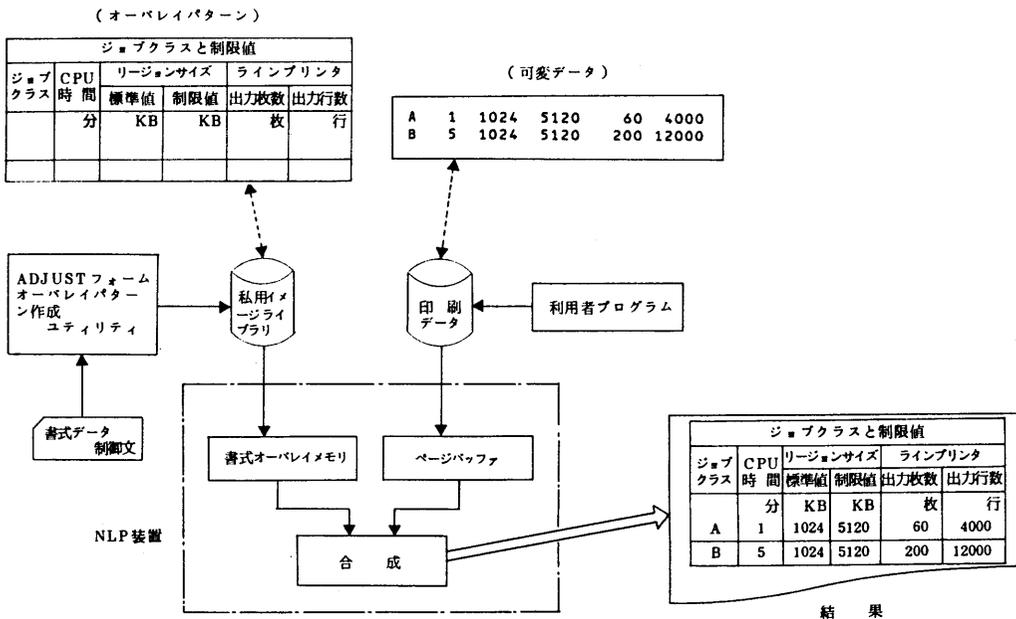


図 1.1 フォームオーバーレイ機能の処理概念

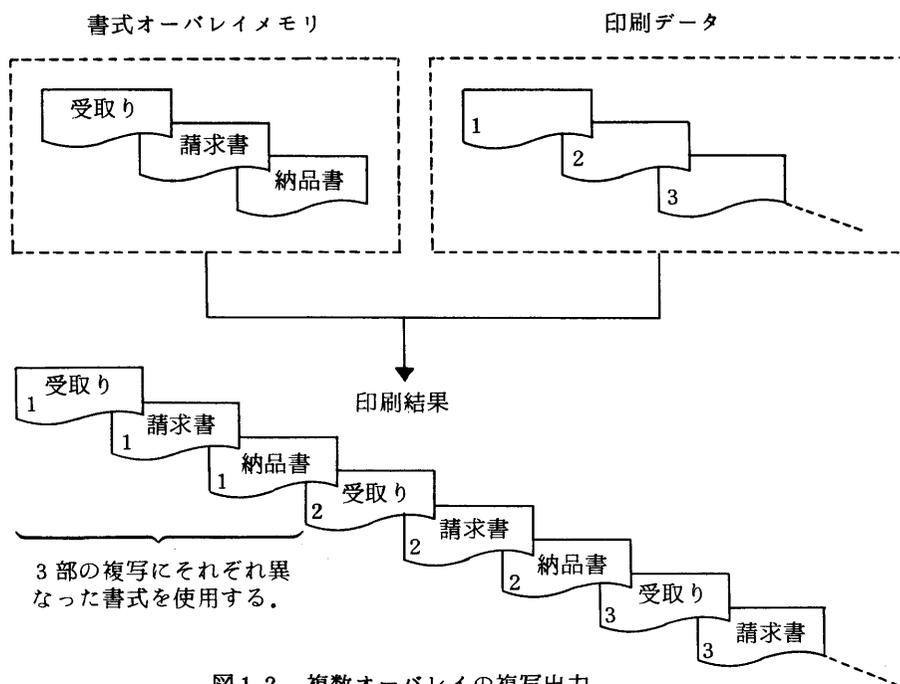


図 1.2 複数オーバーレイの複写出力

2. 使用法

プロシージャ名	記号パラメータ
ADJUST	[, SYSOUT = { $\frac{A}{O}$ }]

1) 関連するDD名

SYSIMAGE: 私用イメージライブラリを指定。オーバーレイパターンの登録および試し印刷時に必須。

IMAGELIB: オーバーレイパターンの印刷（試し印刷，可変データとの合成印刷）時に必須。このDD文は必ずJOB文とEXEC文の間に指定し，指定がないときは当該ジョブは強制的にキャンセルされる。

2) 使用例

- オーバレイパターンの登録

```
//F9999A    JOB
//          EXEC  ADJUST
//SYSIMAGE DD  DSN=F9999.IMAGE.LOAD,DISP=(NEW,CATLG),UNIT=PUB,
//          SPACE=(TRK,(10,10,5))
//SYSIN     DD  *
              NAME パターン名,REPLACE
              MANNER CHAR(8,6)
              HLINE SP(3,2),LENGTH(32),THICK(4),REPEAT(2,1.5)
              .
              .                               (フォームオーバーレイパターン作成ユーティリティ制御文)
              .
              END
//
```

私用イメージライブラリに登録されるメンバ名は、パターン名の前に文字列 'KOL1' が付加されたものとなる。

- オーバレイパターンの試し印刷

```
//F9999A    JOB
//IMAGELIB DD  DSN=F9999.IMAGE.LOAD,DISP=SHR
//          EXEC  ADJUST
//SYSIMAGE DD  DSN=F9999.IMAGE.LOAD,DISP=SHR
//SYSIN     DD  *
              PRINT パターン名
//
```

- 可変データとオーバーレイパターンの重ね印刷

```
//F9999A    JOB
//IMAGELIB DD  DSN=F9999.IMAGE.LOAD,DISP=SHR
//          EXEC  FORT77,STEP=CGO
//FORTCGO.FT06F001 DD  SYSOUT=0,FLASH=パターン名
//FORTCGO.SYSIN DD  DSN=ソースプログラムのデータセット名, ...
//
```

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS VI/F4 日本語ラインプリンタ装置使用手引書V01用 (64SP-9111-5), 富士通株.
2. 川崎, 柳池, 武富 日本語情報システムJEFの使用法(2), 九大大型計算機センター広報, 14, 1, 1981, 37-58.

3. 計算機マニュアル FACOM OS VI / F4 MSP ADJUST使用手引書V10用(78SP-6000-1), 富士通株.

(ライブラリ室 電(内)2523)

3. 結晶構造データベースシステムXDTのデータの追加について

2月15日からXDT[1]は結晶解析数が3,122増えて、全体で40,489になりました。化合物数の増加は、2,624で、全体で36,418です。

参考文献

1. 河野ほか 結晶構造データベースシステムXDTについて(総合版), 九大大型計算機センター, 16, 6, 1983, 556-604.

(データベース室 電(内)2510)

4. プログラム相談員の募集について

当センターでは、毎日午前10時から午後5時(土曜日10時~12時)までプログラム相談を行っております。質問者への助言、技術指導等のため、下記により昭和59年度のプログラム相談員を募集いたしますので、多数の方々の応募をお願いします。なお、定員に達ししだい申し込みを締め切らせていただきます。

記

- ・募集人員 18名
- ・応募資格 センター利用有資格者
- ・担当時間 週1回(2時間)
- ・任期 昭和59年4月~昭和60年3月
- ・特典 指導用計算期間 年間120分
- ・申込み先 九州大学大型計算機センター(共同利用掛 電(内)2505)
- ・申込期限 昭和59年3月10日(土)

5. マスストレージの年度更新手続きについて

昭和59年度もマスストレージ(MSS)を引き続き利用される方は、共同利用掛まで電話(内2505)で御連絡ください。なお、取り消しをされる方は早目にマスストレージ取消申請書を提出してください。

注1) 課題の年度更新がされていない場合は認められません。(年度の初め1週間後に消去します。)

注2) 科学研究費の課題で利用されているマスストレージの年度更新はできません。

(共同利用掛 電(内)2505)